

○前提条件の整理

【スペランツァ様からの要望概要】

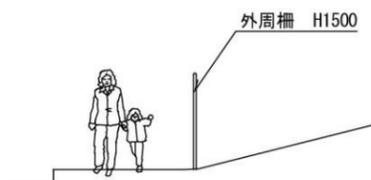
- ・有料試合時に一般公園利用者の観戦ができない措置が必要。
- ・チケットのもぎりは1箇所が理想的。
- ・防球ネットはコート際に位置することが管理上は有利。

【柵類 高さ設定基準】

○外周柵

H=1.5m

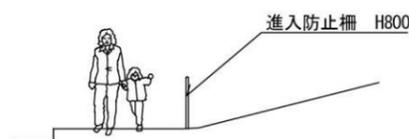
参考資料：環境省「自然公園等施設技術指針」



○進入防止柵

H=0.7~0.8m

参考資料：国土交通省「防護柵の設置基準」



○防球ネット

H=6.0m (コートとの高低差を合わせて、10m内外の防球効果を確保)

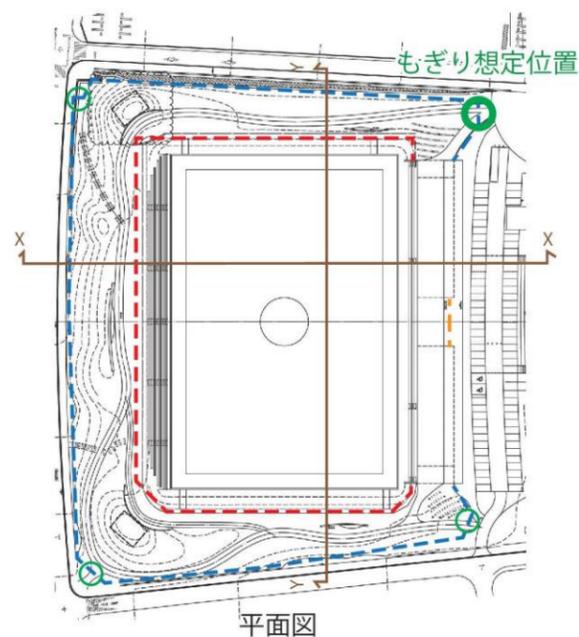
参考資料：サッカー競技場防球ネットの導入実績があるメーカー3社の実績

- ・H=20.0m内外 1事例 (近くに高速道路が通っている事例)
- ・H=15.0m弱 11事例
- ・H=10.0m内外 27事例
- ・H=5m以下 3事例

○防球ネット・進入防止柵 設置イメージ比較

A案 防球ネット+進入防止柵併用案

- ・進入防止の上、防球ネットをコート近くに設置可能
- ・2重の柵になるため、景観性・経済性に課題あり
- 設置位置や規格形状で緩和

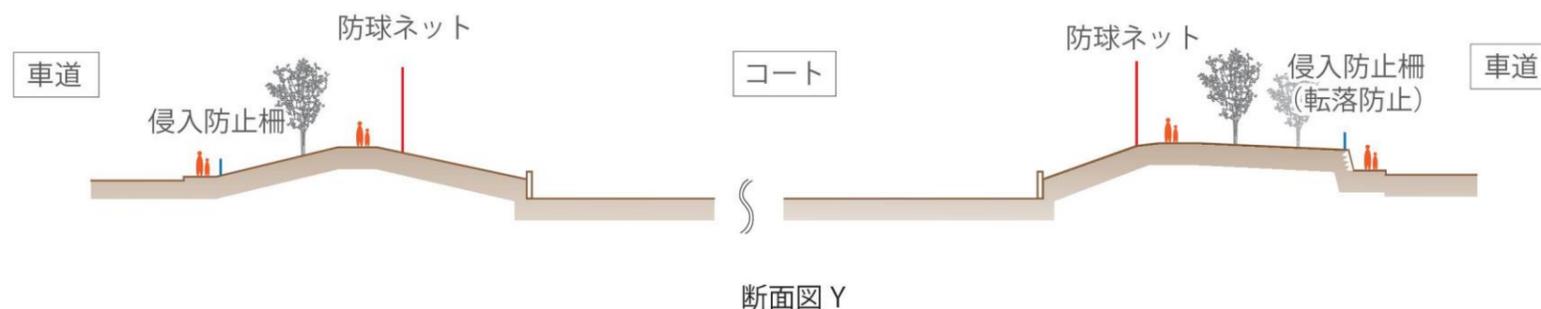
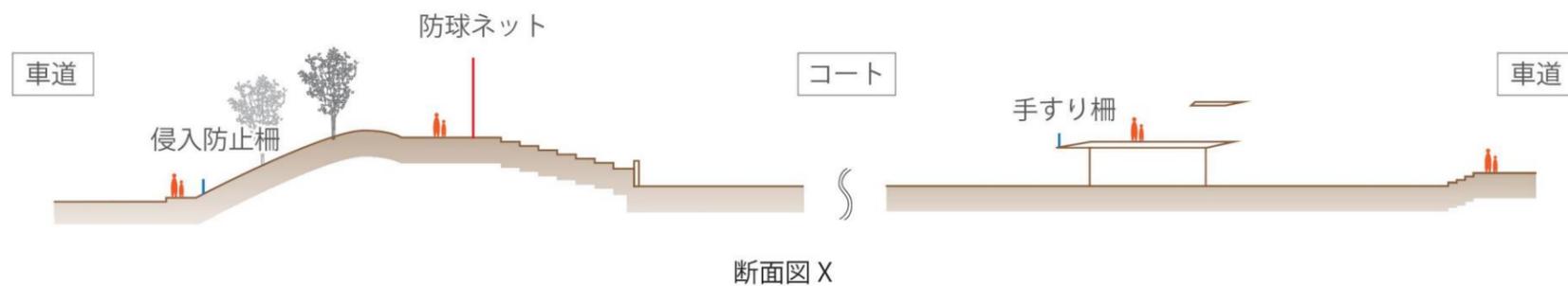


外周柵イメージ



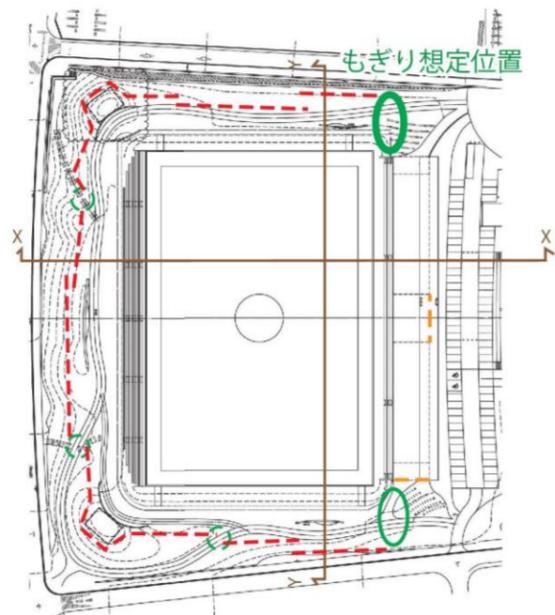
進入防止柵イメージ

- 侵入防止柵 (H1,500)
- 防球ネット (H6,000)
- 可動フェンス (ピロティ部)
- メインゲート (H1,500)
- サブゲート (H1,500)
- ※試合時以外は閉鎖



B案 防球ネット+ゲート併用案

- ・防球ネットのみで防球かつ進入防止が可能
- ・防球ネットがコートから遠く、管理上の課題あり
- ・閉鎖無しの試合時、園路にボールが飛ぶ可能性あり

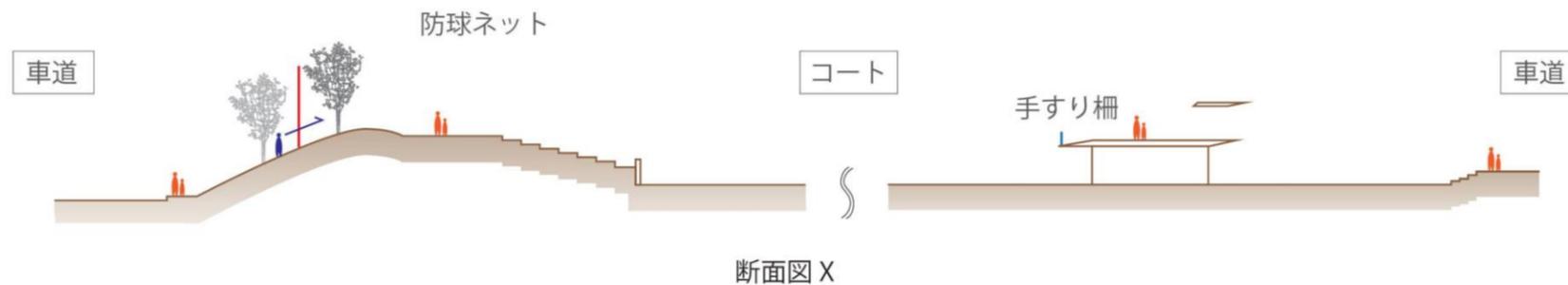


平面図



ゲートイメージ

- - - 防球ネット (H6,000; 標準)
- - - 可動フェンス (ピロティ部)
- メインゲート
- サブゲート ※試合時以外は閉鎖
- 開閉カーテン ※試合時以外は閉鎖



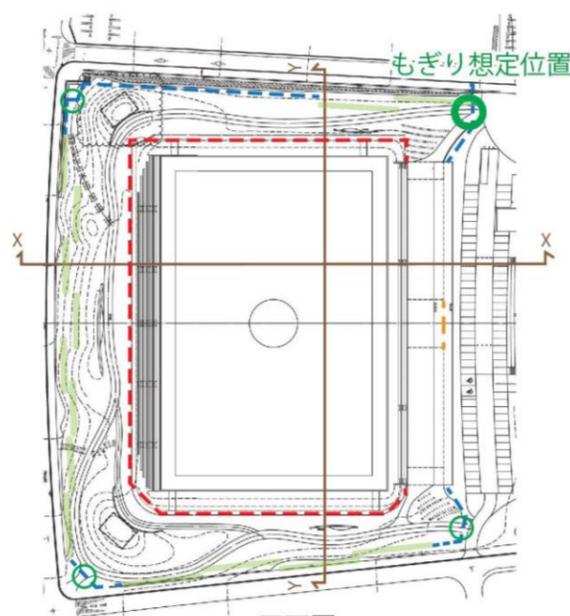
断面図 X



断面図 Y

C案 防球ネット+進入防止柵併用(一部低木等活用)案

- ・進入防止の上、防球ネットをコート近くに設置可能
- ・柵に比べ、視線の透過性に劣る。  
→植栽位置や管理によって緩和可能



平面図

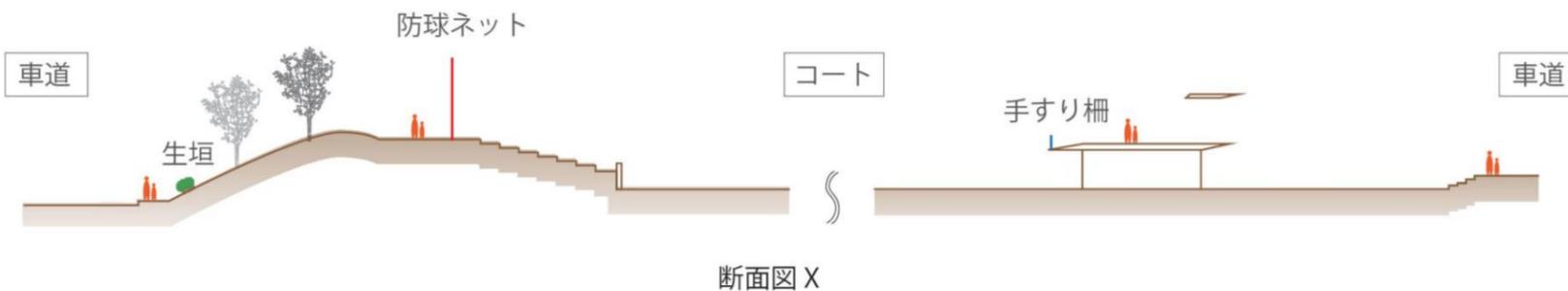


低木帯・生垣イメージ

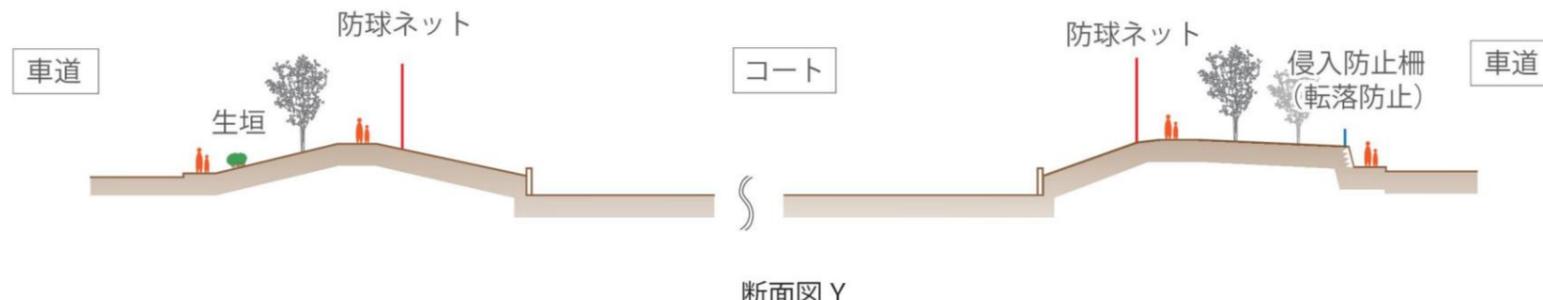


緑化フェンスイメージ

- - - 緑化フェンス (H1,200)
- - - 防球ネット (H6,000)
- - - 可動フェンス (ピロティ部)
- メインゲート (H1,200)
- サブゲート (H1,200)
- 低木帯、生垣等 (H400~1,000)



断面図 X



断面図 Y